

【レスリング】

クリッパン女子国際大会

2月15日から17日に「クリッパン女子国際大会」がクリッパン（スウェーデン）で開催され、鏡さん、尾崎さん、坂本さんが出場しました。

この大会の、カデットとシニア（ジュニアと合同）の部には、第31回オリンピック競技大会（2016/リオデジャネイロ）の金メダリストや、昨年の世界チャンピオンもエントリーしており、極めてハイレベルな戦いが予想されました。



尾崎さんはカデットの部61kg級に出場し、1回戦から決勝までの4試合を失点ゼロという圧倒的な強さを見せ、優勝を果たしました。この結果、尾崎さんは大会で最も活躍した選手に贈られる「ベストレスラー賞」を受賞しました。同じく46kg級に出場した坂本さんも決勝までの3試合を全てフォール勝ちで、優勝を果たしました。

鏡さんはジュニア・シニアの部72kg級に出場し、準決勝で中国の選手に敗れましたが、3位決定戦ではスウェーデンの選手にテクニカルフォール勝ちをおさめ、3位となりました。

また、大会終了翌日の2月18日からは、中国やロシアを含む19ヶ国約180名の選手が参加して合同合宿が行われました。合宿は「カデット」「シニア50～59kg級」「シニア62～76kg級」の3部門に分かれて行われ、尾崎さんはカデット部門の選手ながらも、シニア軽量級の練習に特別参加し、よりハイレベルな練習をこなしました。吉村コーチは「大会翌日の午前にもかかわらず、参加選手達が必死に練習する姿に、世界の女子レスリング選手の向上心と勝利への食欲さを感じました」と話していました。



【シニア軽量級の練習風景】

【アーチェリー】

世界選手権代表選考会



【試合中の園田さん(左から二人目)】

2019年アーチェリー世界選手権大会日本代表第二次選考会が2月12日から14日までチュラピスタ（アメリカ）で開催され、第一次選考会で史上最年少のナショナルチーム入りを果たした園田さんと伊藤君が出場しました。8位までが出場権を獲得できる本選考会では、園田さんが5位、伊藤君は9位となり、園田さんが3月の最終選考へと進むことができました。

海外での試合のため、ゲームプランはもちろんのこと、不測の事態を想定した練習、食事面、時差対策まで、考えられることは全て準備して試合に臨まなければなりません。

選考会が3日間が行われる中、2日目までは2人とも順調に試合を進め、8位を維持しました。最終日は、大雨と風の影響で試合が中断する悪天候の中、園田さんは順位を5位まであげて、三次選考に進む切符を手に入れました。一方、伊藤君は最終エンド前まで8位を維持していましたが、最後の6本で逆転されて9位となり、三次選考進出を逃す結果となってしまいました。

2人の明暗を分けたのは、結果だけを意識せず、最後まで1本1本の矢を射つことに集中できたかどうかの差だったと思います。この経験を糧に、今後の2人の活躍に期待すると同時に、他のエリートアカデミーアーチェリー競技の選手達にも今回の結果を自分のことと置き換え、熟考してもらうことで大きく成長することを期待しています。

【フェンシング】

アジアカデ・ジュニア選手権

2月27日からアンマン（ヨルダン）で開催されたアジアジュニア・カデフェンシング選手権大会カデ男子サーブル個人で、坪君が金メダルを獲得しました。

坪君は予選リーグを5勝1敗で勝ち上がり、決勝トーナメントに入っても1回戦から決勝までの5試合を安定した試合運びで勝利し、優勝を果たしました。なお、坪君にとって国際大会での優勝は初めてです。

《坪君感想》

「この試合の前に出場したアメリカの大会で手応えを掴んでいた
ので、今回は自信をもって試合に臨むことが出来ました。また、
試合の中でも、外国選手に通用する技を考えながらできました。
実力のある韓国選手に3回戦で勝ったことで勢いが付き、自信
にもつながりました。最終的にはそれが結果になって現れたと思
います。カデのカテゴリーで優勝することができたので、次は
ジュニアのカテゴリーでも頑張りたいと思います。韓国の選手は
強豪揃いで、まだ力の差はあると感じており、その差を縮めて、
ジュニアでも優勝を狙います。」



【Vプログラム】 社会体験活動

今年度の社会体験活動として、2月3日に東京国際空港(羽田空港)にあるANA羽田機体工場と大田区にあるANAトレーニング・エデュケーションセンターの見学を行いました。

最初に、ANA羽田機体工場を見学しました。工場の役割や安全対策の重要性について説明を受けた後、格納庫で実際の機体や、そのエンジンを整備しているところの見学をしました。

次にトレーニング・エデュケーションセンターに移動し、ANAが飛行機を安全に運航するために総力を挙げて取り組んでいる様子を見学しました。海外遠征などで飛行機に乗る機会が多いアカデミー生にとって、事故機体の展示や安全への意識を高める映像は、非常に有意義な体験でした。

《中條君感想》

『今回初めて、エリートアカデミーの社会体験活動に参加し、ANAの整備工場、ANA TECを見学させて頂きました。普段、遠征等で使用する飛行機はたくさんの人が携わってフライト出来ているんだと改めて実感出来ました。昔の事故をきっかけに、ANAの全社員が「安全」を求めて公務に勤めているんだというこ

とも知ることが出来ました。また、今回をきっかけに、パイロットという職種にも興味を持ち、憧れを抱きました。』



【2019年度エリートアカデミー】 新キャプテン決定

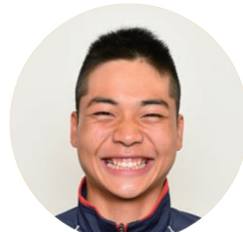
2019年度JOCエリートアカデミーキャプテンがボート競技の青木洋樹君(成立学園高2年)と鏡優翔さん(帝京高2年)に決定しました。

キャプテンはJOCエリートアカデミーの“顔”として、様々な場面で中心的な存在として活動を行います。特に修了式や入校式などでは、アカデミー生を代表としてのスピーチを行います。

2018年度キャプテンの榊君と月野さんから引き継いで、より伝統を創造していくことを期待しています。

《青木君決意表明》

「このエリートアカデミーは、競技や年齢に関係なく選手同士の仲が良く、皆がお互いに影響しあって切磋琢磨できる最高の環境です。これを守っていくとともに、より良い環境に出来るよう一年間全力を尽くしていきます。」



青木洋樹君

《鏡さん決意表明》

「私は今年度のJOCエリートアカデミーの女子のキャプテンを務めさせて頂くことになりました。この一年、チームを引っ張っていく中でまずは私が率先して挨拶や礼儀、部屋の電気を消したり、スリッパを並べたりしていこうと思います。そして今まで先輩たちが築いてきたこの素晴らしい伝統を引き継ぎ、よりよいチームを作っていこうと思います。そして生活だけではなく競技面でもしっかりと成績を残し、良い背中を見せられるようにしたいです。」



鏡優翔さん

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>